

—ありのままを生きる



©Mark Shaw

Audrey

写真展 オードリー・ヘプバーン
Hepburn

2022年 9月10日[土] - 10月23日[日]

○開場時間/10:00~17:00(入場は16:30まで) ○休館日/月曜日[ただし9月19日、10月10日(月・祝)開館、翌9月20日、10月11日(火)休館]

会場:九州芸文館 福岡県筑後市大字津島1131 [九州新幹線・JR鹿児島本線「筑後船小屋」駅徒歩1分]

観覧料:一般800円(600円)、高大生500円(300円)、小中生300円(100円) ※65歳以上の方は特別割引料金(600円)

※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方およびその介助者は無料

□主催:九州芸文館美術展実行委員会 □共催:西日本新聞社 □協力:mpty images □企画制作:クレヴィス

新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じて開催します。ご来場の際は感染拡大防止へのご協力をお願いします。感染症の状況や都合により変更・中止する場合があります。

九州芸文館

KYUSHU GEIBUN-KAN

Audrey



nptvimages.com



©Bob Willoughby

Hepburn

オードリー・ヘプバーン(1929-1993)はデビュー作「ローマの休日」(1953年)で、旅先で偶然出会った新聞記者と恋に落ち、大人の女性へと成長を遂げていく王女を演じ、アカデミー賞主演女優賞を受賞しました。その後も「麗しのサブリナ」(1954年)、「ティファニーで朝食を」(1961年)、「マイ・フェア・レディ」(1964年)など数々の名作映画で主演を飾りました。スイスの自然豊かな家で家族と過ごす時間を何よりも大切に彼女は、晩年ユニセフ特別親善大使として戦争の犠牲となった子どもたちを支援するために精力的に活動しました。スクリーンの中でもプライベートにおいても一貫して自分らしさを大切にされた彼女の姿は現在も多くの人々に影響を与え続けています。本展はハリウッドで活躍したフォトグラファーたちの作品を中心に約150点で、彼女がありのままに生きた姿を紹介します。



■交通案内

- JR 九州新幹線「筑後船小屋」(博多から約25分)から徒歩1分/鹿兒島本線「筑後船小屋」(博多から快速で約50分)から徒歩1分
- 西鉄バス 50番(久留米-船小屋)「筑後船小屋駅前」から徒歩1分
- 九州自動車道「八女IC」より約10分、「みやま柳川IC」から約15分
- 駐車場 103台(2時間まで無料/以降1時間100円)

■お問合せ

九州芸文館 (筑後広域公園芸術文化交流施設)
〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 TEL: 0942-52-6435
URL: <http://www.kyushu-geibun.jp>

関連イベント

◆クロストーク「ヘプバーンの『ありのまま』の魅力を探る」

ヘプバーンの女優としての活動や生き様について、映画学・社会学の視点から見た彼女の魅力を探ります。

登壇者：齊藤綾子(明治学院大学文学部芸術学科 教授)

鈴木涼美(文筆家・コラムニスト)

日時：9月19日(月・祝) 14:00～16:10

会場：教室工房3・4 定員：50名

要申込 参加無料(※ただし本展入場券が必要です) 先着順

〈申込方法〉

九州芸文館の電話(0942-52-6435)もしくはホームページ内の

展覧会サイトからご応募ください。

申込締切日：9月16日(金)

※定員になり次第締め切らせていただきます。



◆アクロス・ミュージアムコンサート

曲目：映画「ティファニーで朝食を」より「ムーン・リバー」他

出演：サックス/福井健太、トランペット/阿部一樹、ピアノ/田中久子

日時：9月24日(土)

第1部 13:30～14:00 第2部 15:00～15:30

会場：九州芸文館入口前

(※屋外開催のため、悪天候の場合は会場を変更いたします。)

申込不要 参加無料 先着順

主催：(公財)アクロス福岡、九州芸文館美術展実行委員会

◆ギャラリートーク

会場をまわりながら、学芸員が展覧会の鑑賞ポイントをお話します。

日時：10月1日(土)、10月16日(日) 14:00～14:45

会場：展覧会場

申込不要 参加無料(※ただし本展入場券が必要です)

※感染症拡大状況などにより、イベントが開催中止になる場合もございます。最新の情報はホームページをご確認ください。

九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN

Uni-Voice

このマークは、目が自由な人などが使う音声コードです。

